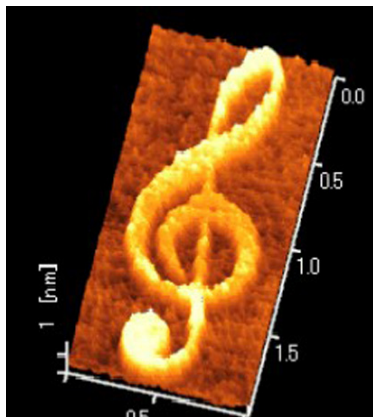


「科学と芸術の間 2018 相克を超えて共生・相乗へ」

講師 倉持宏実

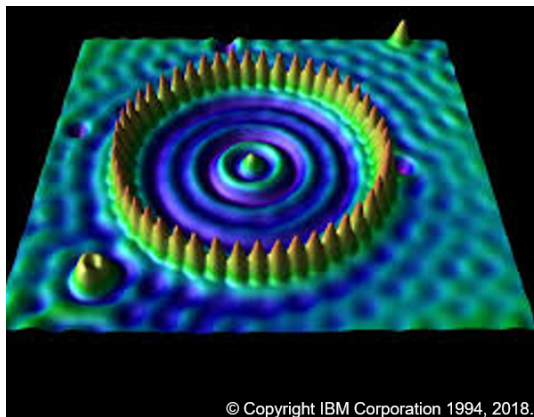
「理性と感性の相克」という社会イメージに反して、「結果を得るまで、体系的に実験・試行の過程を繰り返す」という共通項によって、科学者と芸術家は相容れ易い。特に 20 世紀後半から、表現手段としての技術提供と、科学の可視化を通して、科学と芸術は共生してきた。現在、科学技術の発達によって人間の時空間認識や行動様式、相互関係まで変革しつつある。科学側の動きを見ながら、境目がなくなりつつある科学と芸術の関係性について考察する。



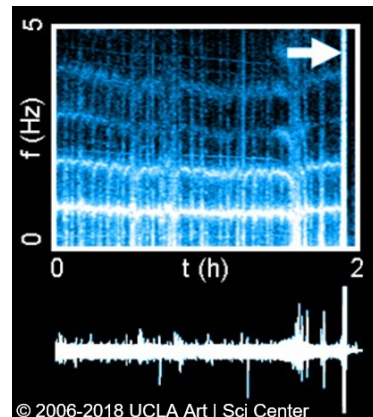
G clef



Blue-morph



quantum corral



sonograms



【講師略歴】 倉持宏実 Hiromi Kuramochi

東京理科大学で化学・筑波大学で物質工学を学ぶ(工学博士)。JST-ERATO プロジェクト、ケンブリッジ大学、AIST 等において表面科学、原子操作、ナノテクノロジー分野の先端研究に携わる。現在、東京大学でナノバイオエンジニアリングの研究を行う傍ら、東京造形大学で化学・物理学の講義を担当。科学と芸術の相互関係をテーマに科学コミュニケーション研究にも関わっている。

- ・開催日時 2018 年 11 月 15 日(木)17:30 ~ (17:00 開場 / レクチャー 45 分 / その後、質疑応答)
- ・会場 玉川田園調布会館 世田谷区玉川田園調布 1-9-12 アルス田園調布 2F
東急田園調布駅から徒歩 3 分(環八通り沿い)
- ・主催 一般財団法人佐々木宏子財団
- ・参加費 無料
- ・参加申し込み 一般財団法人佐々木宏子財団 WEB サイトからお申込み頂けます。
URL/www.sasakihiroko.foundation.jp ※定員 50 名になり次第締切